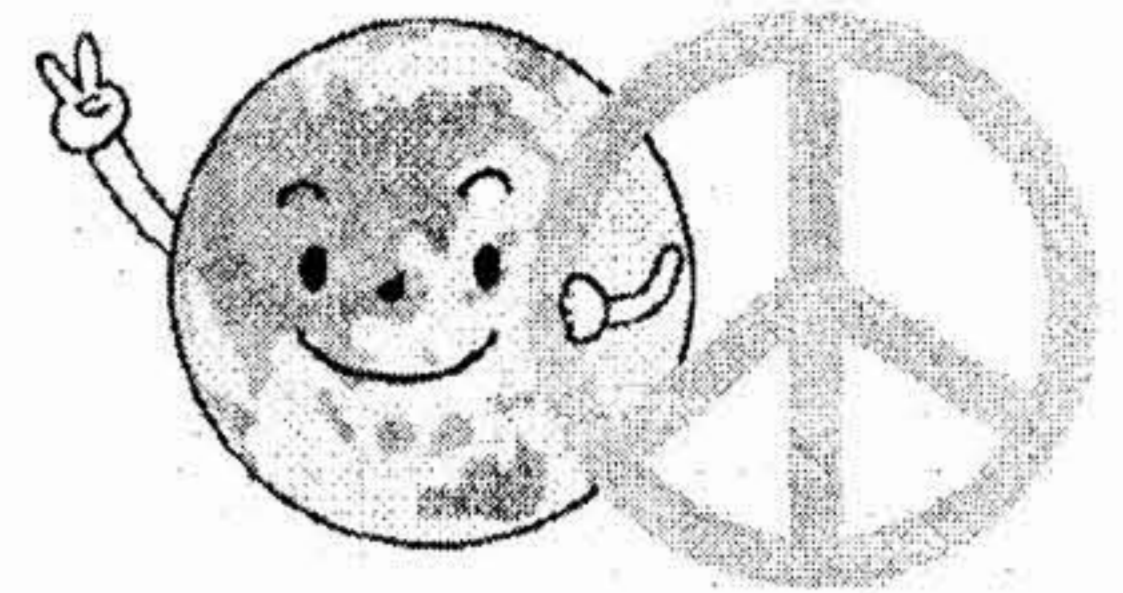


## 軍事に頼らない平和的安全保障を

東アジア地域は、経済的な交流と相互依存が緊密になりつつあり、この地域での戦争はありえないし、絶対に起こしてはならないというのが現実です。東アジアの安全保障はこの現実立ち、軍事依存から道理に立った外交で安全保障をはかることが重要です。



### ③ 日本の経済主権を確立する保障がつくれる

アメリカいいなりでゆがんだ日本経済

安保条約を破棄すれば、日本経済はアメリカいいなりではなく、自主発展の道にすすむことができ、地球環境、投機マネーなどの問題でも日本が自主的なイニシアチブを發揮できます。



農業	農産物が輸入自由化の対象になり、自給率が4割に
原発	濃縮ウランと原子炉の押しつけで「原発列島」に
金融	金融自由化と超低金利政策の押しつけで日本国民の莫大な富がアメリカへ
労働	規制緩和の押しつけで派遣労働が自由化

## 東アジアに平和的環境をつくる 緊急の外交努力を



日本共産党は、安保条約をなくす取り組みとともに、東アジアに平和的環境をつくる緊急の外交努力を追求します。

### ■ 軍事的対応の拡大と悪循環を厳しくしりぞける

日本は北朝鮮の国際法違反に対し、軍事的対応が突出する傾向があります。それを戒め、どんな場合でも国際社会が一致して、外交的努力に徹する姿勢が、北朝鮮に違法行為をやめさせ、国際社会の責任ある一員としていく上で重要です。

### ■ 米中・中日関係—軍事力に頼る思考から抜け出し軍拡から軍縮へ

日中間も米中間も経済・人的関係を深化させているもとの、戦争は決して起こしてはならないし、もはや起こせません。この現実立ち、双方が軍事力で対抗するという思考から脱却し、軍拡から軍縮に転じることを求めます。

### ■ 領土問題—歴史的事実と国際法にもとづく外交的努力を

東アジア地域の領土問題の解決は、歴史的事実と国際法に基づく冷静な外交的解決に徹することが何よりも重要です。

### ■ 歴史問題の解決は、東アジアに平和的環境をつくる土台

日本が過去に行った侵略戦争と植民地支配の反省は、東アジアに平和的環境をつくる土台。「従軍慰安婦問題」など未解決の問題をすみやかに解決するとともに、歴史をねつ造する逆流の台頭を許さないことを日本政府に強く求めます。